

(臨床研究に関する公開情報)

相模原病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

周産期・乳幼児期におけるクルミまたはカシューナッツの摂取と即時型クルミまたはカシューナッツのアレルギーの発症に関する調査

[研究責任者]

臨床研究センター センター長 海老澤 元宏

[研究の背景]

近年、木の実アレルギーが急増しており、今では日本で三番目に多いのが木の実アレルギーです。日本では特にクルミアレルギーとカシューナッツアレルギーが多く、重篤なアレルギー症状（アナフィラキシー）を起こしてしまう患者さんも少なくありません。

今までに行われた研究で、妊婦さんが食べる木の実の摂取量が多いと、お子さんの木の実アレルギーの発症率が低かったことが報告されています。一方で、乳児期のクルミまたはカシューナッツの摂取とその後のアレルギー発症の関連性はわかっていません。

本研究では、妊娠中や乳幼児期のクルミまたはカシューナッツの摂取がお子さんのアレルギーの発症に関連があるかを調査します。

[研究の目的]

周産期・乳幼児期におけるクルミまたはカシューナッツの摂取の有無・頻度と即時型クルミまたはカシューナッツアレルギーの発症との関連性について調査します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

本研究ではクルミまたはカシューナッツアレルギーの患者さん（クルミまたはカシューナッツを食べて症状が出たことがある方）と、クルミまたはカシューナッツアレルギーがない患者さんを対象としています。

●研究期間：院長承認後から西暦 2025 年 3 月 31 日

●カルテ情報、アンケート調査

カルテ情報：発症年齢、性別、生年月日、アレルギー疾患の既往、アレルギー疾患の家族歴、診断時の血液検査の結果（クルミまたはカシューナッツ特異的 IgE 値, Jug r 1 または Ana o 3 特異的 IgE 値, ハンノキ特異的 IgE 値、総 IgE 値）

アンケート調査：通院していた医療機関、性別、生年月日、妊娠中のクルミまたはカシューナッツの摂取頻度、分娩方法、乳児期の栄養方法、授乳中・乳幼児期のクルミまたはカシューナッツの摂取頻度、離乳食の開始時期、集団保育の開始時期、

国立病院機構相模原病院 情報公開用文書 作成日 2022年7月4日 第1.0版
集団保育施設でのクルミまたはカシューナッツの提供の有無、家庭での掃除が
けの頻度、幼児期のクルミまたはカシューナッツの摂取の有無とアレルギー症
状の有無、調査時点でのクルミまたはカシューナッツの摂取量、家族のアレルギー
合併疾患

●情報の管理

情報は匿名化のため暗号化した状態で研究代表者機関である相模原病院にインターネ
ットを介して提出され、集計及び解析が行われます。

[研究組織]

この研究は、多施設との共同研究で行われます。研究で得られた情報は、共同研究機
関内で利用されることがあります。

●研究代表者（研究の全体の責任者）：

国立病院機構相模原病院 臨床研究センター 海老澤 元宏

●その他の共同研究機関：

国立病院機構熊本医療センター 小児科 緒方 美佳

長野県立こども病院 アレルギー科 小池 由美

自治医科大学附属さいたま医療センター 小児科 牧田 英士

茨城県立こども病院 小児科 貴達 俊徳

水戸済生会総合病院 小児科 貴達 俊徳

甲南医療センター 小児科 谷口 裕章

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、院外に提出する場合には、お名
前、住所など、個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を付けます。ま
た、研究用の番号とあなたの名前を結び付ける対応表を相模原病院の研究責任者が作成
し、研究参加への同意の取り消し、診療情報との照合などの目的に使用します。対応表
は、研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

情報は、相模原病院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。研究成果は
学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用
しません。

[問い合わせ先]

国立病院機構相模原病院

小児科・臨床研究センター 石橋/河合/糸永/三浦/海老澤 元宏

電話 042-742-8311（代表） FAX 042-742-5314